

## コミュニティ・スクールだより Vol.2

発行者 松ヶ崎小中学校 学校運営協議会

コミュニティ・スクールディレクター兼地域コーディネーター 石井沙耶

発行日 令和7年9月10日

朝夕の風に涼しさを感じられる今日この頃、皆様におかれましてはますますご壮健のことと存じます。平素は学校での教育活動にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

8月29日(金)、令和7年度第2回 学校運営協議会を開催いたしました。

前回に引き続き、学校運営協議会の前には授業参観も行い、希望のあった委員のみなさまには普段の授業の様子を見ていただきました。

会の初めには、松ヶ崎留学の募集状況について、学校評価アンケートの結果についての報告・意見交換など、学校と子どもの元気は地域の元気プロジェクトからいくつかの共有事項などを伝えました。

そして、今回は、中学校の総合的な学習の時間の中で「学校林活動」について話し合いの時間を持ちました。

まず、佐藤教頭先生より、学校林活動の歴史や現状について、クイズも交えながら全体にお話いただきました。松ヶ崎中学校の伝統でありこれまで長く続いてきた学校林活動を今後も続けていくうえでは、大きく分けると「人手」と「金銭面」に課題があります。委員のみなさまには、目下の課題である「9/20(土)の学校林活動への参加者増加」に向けてできることの案を出していただきました。

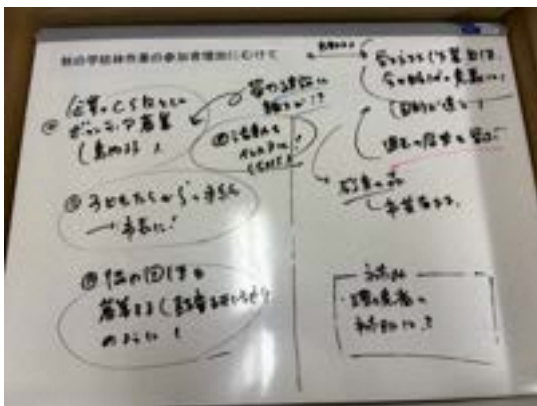
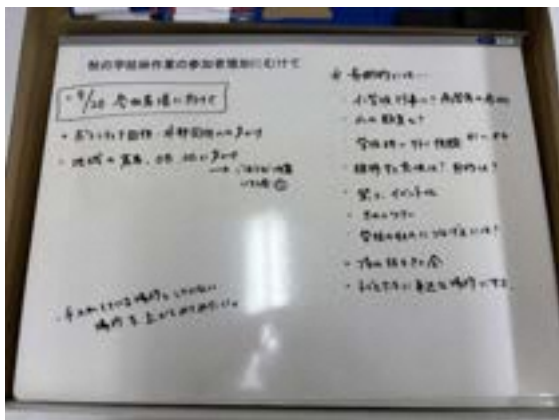
▼スライドを使用した説明の様子



▼案を考えている様子



現在協力してくださっている地域の方からの「参加するのは誰でも良いわけではなく、山や道具の扱いに慣れている人でないと怪我をしてしまう心配がある」という現実的な気持ちも聞きつつ、卒業した高校生に声をかけてはどうか？長期的には、林業や農業を学んでいる学生に来てもらうのもどうか？企業のCSR（corporation social responsibility）としてボランティアを募集してみても？等、さまざまな意見が出ました。今後どのような形で学校林活動を続けていけるか、引き続き地域の皆さまからの協力も得ながら考えていきたいと思っています。



また、前回の学校運営協議会にて作成した学習計画は、実際におこなった様子の写真や書き込みが増えていながら引き続き職員室の前に掲示してあります。学校にお越しの際には、ぜひ立ち寄って眺めてみていただけたら幸いです。



〈実際におこなったこと 一部抜粋〉

- ・野菜づくり～収穫まで
- ・カブトムシの幼虫を育てる
- ・海洋深層水を利用した養殖施設の見学
- ・いごねりづくり
- ・漁師体験（仕掛け、魚を網から外す）

学校運営協議会は、年に4回開催されます。残り2回も有意義な場となるよう、引き続き取り組んでまいります。

日中はまだ暑い日が続きますが、健康第一でお健やかにお過ごしください。